

「県南地域感染症情報」に関する御意見、御質問等はFAXまたはメールでお願いします。
 メール返信の方は、右の「感染症情報連携シート」をクリックして記載願います。
 県南保健所生活衛生部医療薬事課
 FAX0248-23-1252 メールアドレス kansen_kennan@pref.fukushima.lg.jp

感染症情報連携シート

管内でも風しんが発生しています

☆風しんの発生状況

関東地方を中心に30～50歳代男性の風しん患者数が大幅に増加しており、11月末までの風しん患者数は、**昨年度の10倍以上、2,000人を越えました。**

県内では、福島市や郡山市、いわき市内の**30歳代～50歳代の男性**が相次いで**風しん**と診断され、**12月には県南保健所管内の30歳代男性が風しんと診断されました。**

☆なぜ、30～50歳代の男性に患者が多いのでしょうか？

この年代は、女子中学生のみに予防接種が実施されていた時期のため、男性では5人に1人は免疫を持っていません。



★「風しん」で注意が必要な点は？

妊娠20週以内の妊婦が風しんウイルスに感染すると胎児に感染し、生まれたお子さんが、難聴や心疾患、白内障等をもつ「**先天性風しん症候群**」に罹患する場合があります。



風しんは、発疹の出る1週間前から感染力を持ちます。妊婦の家族、職場の同僚等が風しんにかかることで、気づかぬうちに妊婦にも感染させてしまう恐れがあります。

★風しんの予防には、予防接種が有効です！！

風しん予防接種をうけたことのない方は、抗体価検査を受け、抗体のない場合は、積極的に予防接種を受けましょう！



市町村によっては、

妊娠を希望する女性・その配偶者等風しんの抗体検査受検費用 や予防接種費用を助成している場合もあります。

お住まいの市町村へお問い合わせください。

妊娠を希望する女性、妊婦とご家族へ

風しんの報告数が増加しています
風しんからお腹の子どもを守りましょう

- ・ 妊婦が風しんにかかることで、生まれながらにして眼や耳、心臓に障害をもった子どもが生まれることがあります。
- ・ この障害は、先天性風しん症候群（CRS）とよばれています。

【皆様にできること】

妊婦 妊婦を希望している人 妊婦の同居家族

抗体検査を受けましょう。

↓ 抗体価が低い場合 ↓ 抗体価が低い場合 ↓

ワクチン接種を検討しましょう。
※ワクチン接種後2ヶ月程度は、避妊するようにしましょう。

不要不急の外出を避け、人混みに近づかないようにしましょう。

風しんを疑う症状（発熱、発疹など）が出現した際は、医師に相談しましょう。
※妊娠中は、ワクチン接種を受けることができません。

★ 医療機関の皆様へ ★

- 1 風しんを診断した場合は**直ちに保健所に届出と行政検査の協力**をお願いします。
- 2 発熱や発疹を呈する患者が受診した際は、**予防接種歴を確認**するなど風しんを意識した診療をお願いします。また、風しんの感染力の強さに鑑みた**院内感染対策**をお願いします。

福島県ホームページ

風しんに気をつけましょう

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/21045a/kansenkangokansen21.h>
 tml